

## 令和2年度 交付申請額の算出根拠

リース事業者名

単位：円

## 1. 漁船・漁具等の取得費等

(1) 漁船取得・改修費

事業費

助成金

10,100,000

5,050,000

(2) 漁具等の取得・設置費

4,000,000

2,000,000

(3) 漁船・漁具等取得費等 計 ((1) + (2))

14,100,000

7,050,000

## 2. リース導入費

(1) 金利 (別表1)

事業費

助成金

242,400

242,400

(2) 保証料 (別表2)

254,280

254,280

(3) リース導入費 計 ((1) + (2))

496,680

496,680

## 3. 交付申請額 合計

事業費

助成金

14,596,680

7,546,680

(注1) 1に係る消費税は除きます。

(注2) 追加交付申請の場合は追加申請分のみ記載のこと。

(備考) 当該交付申請書の算出根拠は、①当該年度予算分及び②前年度に水漁機構から交付決定を受けずに当該年度へ繰り越したもの(繰越分2)について作成し、繰越分2についてはタイトルの後に(繰越分2)と記載のこと

【 事例2：繰越分2 】

令和2年度 交付申請額の算出根拠（繰越分2）

リース事業者名

単位：円

1. 漁船・漁具等の取得費等

事業費 助成金

(1) 漁船取得・改修費

--	--

(2) 漁具等の取得・設置費

--	--

(3) 漁船・漁具等取得費等 計 ((1) + (2))

--	--

記載方法  
事例1に  
同じ

2. リース導入費

事業費 助成金

(1) 金利（別表1）

/	/
---	---

(2) 保証料（別表2）

/	/
---	---

(3) リース導入費 計 ((1) + (2))

/	/
---	---

該当無

3. 交付申請額 合計

事業費 助成金

--	--

(注1) 1に係る消費税は除きます。

(注2) 追加交付申請の場合は追加申請分のみ記載のこと。

(備考) 当該交付申請書の算出根拠は、①当該年度予算分及び②前年度に水漁機構から交付決定を受けず

に当該年度へ繰り越したもの（繰越分2）について作成し、繰越分2についてはタイトルの後に（繰越分2）と記載のこと

(事例) 消費税別

令和2年度に漁業者Aにリースするために漁業者Bの所有漁船X丸を取得・改修してリース開始。また、併せて、底びき網を取得してリース開始。

漁船の取得・改修費：1,000万円(消費税抜) 運搬費：10万円(消費税抜) 1隻

漁具の取得費：400万円(消費税抜) 1網

借受者別交付申請額の算出根拠

繰越分の記載方法も当該年度分と同一

借受者名	A
計画番号	20HK0015

1. 漁船・漁具等の取得費等について(今年度取得分)

単位：円

(1) 漁船・漁具等の名称

(2) リースバック方式(\*)か否か

(3) 漁船・漁具等の取得改修費

① 漁船・漁具等の取得・改修費

漁船・漁具等毎の数量

② 中古漁船の運搬費等

(漁網・漁具等の設置費)

③ リースバックの場合の譲渡代金

④ 小計(①+②-③)

⑤ 助成金(≦④×1/2)

リースバック方式の時は  
○を付し、それ以外は×  
を付してください。

消費税を除いた価格を記  
入願います。

漁船	漁網			
×	×			
10,000,000	4,000,000			
1	1			計(X)
100,000	0			
0	0			
10,100,000	4,000,000			14,100,000
5,050,000	2,000,000			7,050,000

(\*) リースバック方式とは、水漁機構作成の水産業成長産業化沿岸地域創出事業業務細則の8.助成対象経費の「また、」書の以下の場合をいう。

(備考) 成長産業化審査会で適正であるとの確認を受けた取得価格審査申請書(写)及び確認書(写)を添付願います。

2. 漁船・漁具等の取得計画

(1) 漁船の場合

船名(X丸)	新船の場合	中古船の場合
① 工事着工予定	令和 年 月 日	令和2年4月28日
② 進水予定	令和 年 月 日	—
③ 完成・引渡予定	令和 年 月 日	令和3年2月22日

(2) 漁具等の場合

漁具等の名称	取得予定年月日
底びき網	令和2年12月22日
	令和 年 月 日
	令和 年 月 日

○記入要領

運用通知第3の2-8の(4)の表に記載されている以下の名称を記載。

1. 漁網：定置網、まき網、底びき網、船びき網、養殖生簀、筏
2. 漁具等：船上クレーン、海水冷却装置、モニタリング機器、自動給餌機、洗浄機、海苔等乾燥機、水産庁特認(特認申請時の名称)

3. 今回交付申請額

今年度取得分計(X)	7,050,000
------------	-----------

(注1) 借受者別に作成すること

(注2) 消費税は除きます。

## リース導入費の算出根拠

別表1 (金利)

事例 ①令和元年度に信漁連より、計12,120,000円を借入  
 資金：一般資金、償還条件：10年間の元本均等方式で年1回償還・据置期間無（各年：1,212,000円） 借入金利：2.0%（助成対象は、漁業近代化資金の場合の0.5%）（利息支払は後払）

単位：円

借入年度	申請初年度の年度	金融機関名	資金名	計画番号	借入額	金利	申請初年度	申請2年度	申請3年度	申請4年度	申請5年度	計	
							令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
令和元年度	令和2年度	〇〇信漁連	一般資金	10HK0015	12,120,000		事業費	242,400	218,160	193,920	169,680	145,440	969,600
							助成金額	60,600	54,540	48,480	42,420	36,360	242,400
年度計							事業費	242,400	218,160	193,920	169,680	145,440	969,600
							助成金額	60,600	54,540	48,480	42,420	36,360	242,400

リース導入費の申請初年度の年度を記載願います。例えば、事例の様に令和2年度が初年度である場合は「令和2年度」と記載願います。

複数の申請初年度の申請がある場合はその申請初年度の年度ごとに本表を作成願います。

単位：円

借入年度	申請初年度の年度	金融機関名	資金名	計画番号	借入額	金利	申請初年度	申請2年度	申請3年度	申請4年度	申請5年度	計
							令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
令和2年度	令和3年度	〇〇信漁連	一般資金				事業費					
							助成金額					
令和2年度	令和3年度	〇〇信漁連	漁業近代化資金				事業費					
							助成金額					
年度計							事業費					
							助成金額					

備考：1. 助成対象となる金利は、漁業近代化資金、株式会社日本政策金融公庫資金及び沖縄振興開発金融公庫資金については借入時の同資金の借入金利であり、その他の資金については同種の漁船・漁具等に相当する漁業近代化資金の借入時の借入金利相当とする。

2. 借入年度・計画番号（分割借入をする場合は枝番を付して下さい。例：10HK0015④）・借入金・金利毎に記載すること。
3. 「年度計」欄は該当する償還年度目（年度）欄の下に「事業費」及び「助成金額」各々の合計額を記載のこと。
4. 金融機関が上記表の資金毎（借入年度・借入金・金利毎）に作成した償還期間中の毎年度の支払金利の額を計算した表を添付すること。
5. 償還は元本均等方式とする。
6. 申請初年度が同じ年度の申請が複数ある場合は、その申請初年度毎に本表を作成願います。
7. 申請最終年度欄には当該助成金の助成対象分のみを記載すること。（申請最終年度とは借入実行後5年目をいう）
8. 2回目以降の交付申請時に本表を作成すること。但し、初回交付申請時に金利の確定額及び5年目の助成額が計算され、作成した金融機関名が入った償還予定表が添付できる場合は、初回交付申請時より作成すること。

別表2 (保証料)

事例 上記借入の保証。一般資金に係る保証料2%、漁業近代化資金に係る保証料1%

単位：円

保証年度	申請初年度の年度	保証機関名	資金名	計画番号	保証借入額	保証料	申請初年度	申請2年度	申請3年度	申請4年度	申請5年度	計	
							令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
令和元年度	令和元年度	〇〇信用基金協会	一般資金	10HK0015	12,120,000		事業費	242,400	218,160	193,920	169,680	145,440	969,600
							助成金額	121,200	109,080	96,960	84,840	72,720	484,800
年度計							事業費	242,400	218,160	193,920	169,680	145,440	969,600
							助成金額	121,200	109,080	96,960	84,840	72,720	484,800

備考：1. 助成対象となる保証料は、漁業近代化資金については保証時の同資金の保証料であり、その他の資金については同種の漁船・漁具等に相当する漁業近代化資金の保証時の保証料相当とする。

2. 別表1の借入金毎に記載すること。
3. 「年度計」欄は該当する償還年度目（年度）欄の下に「事業費」及び「助成金額」各々の合計額を記載のこと。
4. 保証機関が上記資金毎に作成した保証期間中の毎年度の支払保証料（金利に係る保証料については助成対象の金利分に限る。）の額を計算した表を添付すること。
5. 申請初年度が同じ年度の申請が複数ある場合は、その申請初年度毎に本表を作成願います。
6. 2回目以降の交付申請時に本表を作成すること。但し、初回交付申請時に保証料の確定額及び5年目の助成額が計算され、作成した保証機関名が入った償還予定表が添付できる場合は、初回交付申請時より作成すること。

リース導入費の申請初年度の年度を記載願います。例えば、事例の様に令和元年度が初年度である場合は「令和元年度」と記載願います。

別表1 (金利)

同一計画番号で複数の金融機関から複数種類の資金を借り入れた場合

事例

- ①令和2年度に漁船の取得・改修費の自己負担分5,050,000円及び消費税相当額1,010,000円(計6,060,000円)を〇〇信漁連より借入  
 資金：一般資金、償還条件：10年間の元本均等方式で年1回償還・据置期間無(各年：606,000円) 借入金利：2.0%(助成対象は、漁業近代化資金の場合の0.5%) (利息支払は後払)
- ②令和2年度に漁網の取得・設置費の自己負担分30,000,000円及び消費税相当額5,000,000円(計35,000,000円)を〇〇信漁連より借入  
 資金：漁業近代化資金、償還条件：5年間の元本均等方式で年1回償還・据置期間無(各年：7,000,000円) 借入金利：0.5%(利息支払は後払)
- 上記①及び②は完成日、支払日が異なることから借入日が異なる。

単位：円

借入年度	申請初年度の年度	金融機関名	資金名	計画番号	借入額	金利	申請初年度	申請2年度	申請3年度	申請4年度	申請5年度	計	
							令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
令和2年度	令和3年度	〇〇信漁連	一般資金	20HK0015①	6,060,000		事業費	121,200	109,080	96,960	84,840	72,720	484,800
							助成金額	30,300	27,270	24,240	21,210	18,180	121,200
令和2年度	令和3年度	〇〇信漁連	漁業近代化資金	20HK0015②	35,000,000		事業費	175,000	140,000	105,000	70,000	35,000	525,000
							助成金額	175,000	140,000	105,000	70,000	35,000	525,000
年度計							事業費	296,200	249,080	201,960	154,840	107,720	1,009,800
年度計							助成金額	205,300	167,270	129,240	91,210	53,180	646,200

リース導入費の申請初年度の年度を記載願います。例えば、事例の様に令和3年度が初年度である場合は「令和3年度」と記載願います。

別表2 (保証料)

事例

上記借入の保証。一般資金に係る保証料2%、漁業近代化資金に係る保証料1%

単位：円

保証年度	申請初年度の年度	保証機関名	資金名	計画番号	保証借入額	保証料	申請初年度	申請2年度	申請3年度	申請4年度	申請5年度	計	
							令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
令和2年度	令和2年度	〇〇信用基金協会	一般資金	20HK0015①	6,060,000		事業費	121,200	109,080	96,960	84,840	72,720	484,800
							助成金額	60,600	54,540	48,480	42,420	36,360	242,400
令和2年度	令和2年度	〇〇信用基金協会	漁業近代化資金	20HK0015②	35,000,000		事業費	350,000	280,000	210,000	140,000	70,000	1,050,000
							助成金額	350,000	280,000	210,000	140,000	70,000	1,050,000
年度計							事業費	471,200	389,080	306,960	224,840	142,720	1,534,800
年度計							助成金額	410,600	334,540	258,480	182,420	106,360	1,292,400

複数の申請初年度の申請がある場合はその申請初年度の年度ごとに本表を作成願います。

## リース導入費の算出根拠（事業費と助成金が全て同額の場合）

別表1（金利）

事例 ①令和元年度に信漁連より、計12,120,000円を借入  
資金：漁業近代化資金、償還条件：10年間の元本均等方式で年1回償還・据置期間無（各年：1,212,000円） 借入金利：0.5%（利息支払は後払）

単位：円

借入年度	申請初年度の年度	金融機関名	資金名	計画番号	借入額	申請初年度	申請2年度	申請3年度	申請4年度	申請5年度	計
						令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
令和元年度	令和2年度	〇〇信漁連	漁業近代化資金	10HK0015	12,120,000	60,600	54,540	48,480	42,420	36,360	242,400
年度計						60,600	54,540	48,480	42,420	36,360	242,400

リース導入費の申請初年度の年度を記載願います。例えば、事例の様に令和2年度が初年度である場合は「令和2年度」と記載願います。

複数の申請初年度の申請がある場合はその申請初年度の年度ごとに本表を作成願います。

単位：円

借入年度	申請初年度の年度	金融機関名	資金名	計画番号	借入額	申請初年度	申請2年度	申請3年度	申請4年度	申請5年度	計
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
令和2年度	令和3年度	〇〇信漁連	漁業近代化資金								
令和2年度	令和3年度	〇〇信漁連	漁業近代化資金								
年度計											

備考：1. 助成対象となる金利は、漁業近代化資金、株式会社日本政策金融公庫資金及び沖縄振興開発金融公庫資金については借入時の同資金の借入金利であり、その他の資金については同種の漁船・漁具等に相当する漁業近代化資金の借入時の借入金利相当とする。

2. 借入年度・計画番号（分割借入をする場合は枝番を付して下さい。例：10HK0015④）・借入金・金利毎に記載すること。
3. 「年度計」欄は該当する償還年度目（年度）欄の下に「当該年度支払金利」の合計額を記載のこと。
4. 金融機関が上記表の資金毎（借入年度・借入金・金利毎）に作成した償還期間中の毎年度の支払金利の額を計算した表を添付すること。
5. 償還は元本均等方式とする。
6. 申請初年度が同じ年度の申請が複数ある場合は、その申請初年度毎に本表を作成願います。
7. 申請最終年度欄には当該助成金の助成対象分のみを記載すること。（申請最終年度とは借入実行後5年目をいう）
8. 2回目以降の交付申請時に本表を作成すること。但し、初回交付申請時に金利の確定額及び5年目の助成額が計算され、作成した金融機関名が入った償還予定表が添付できる場合は、初回交付申請時より作成すること。

別表2（保証料）

事例 上記借入の保証。保証料1%

単位：円

保証年度	申請初年度の年度	保証機関名	資金名	計画番号	保証借入額	申請初年度	申請2年度	申請3年度	申請4年度	申請5年度	計
						令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
令和元年度	令和元年度	〇〇信用基金協会	漁業近代化資金	10HK0015	12,120,000	121,200	109,080	96,960	84,840	72,720	484,800
年度計						121,200	109,080	96,960	84,840	72,720	484,800

備考：1. 助成対象となる保証料は、漁業近代化資金については保証時の同資金の保証料であり、その他の資金については同種の漁船・漁具等に相当する漁業近代化資金の保証時の保証料相当とする。

2. 別表1の借入金毎に記載すること。
3. 「年度計」欄は該当する償還年度目（年度）欄の下に「当該年度支払保証料」の合計額を記載のこと。
4. 保証機関が上記資金毎に作成した保証期間中の毎年度の支払保証料（金利に係る保証料については助成対象の金利分に限る。）の額を計算した表を添付すること。
5. 申請初年度が同じ年度の申請が複数ある場合は、その申請初年度毎に本表を作成願います。
6. 2回目以降の交付申請時に本表を作成すること。但し、初回交付申請時に保証料の確定額及び5年目の助成額が計算され、作成した保証機関名が入った償還予定表が添付できる場合は、初回交付申請時より作成すること。

リース導入費の申請初年度の年度を記載願います。例えば、事例の様に令和元年度が初年度である場合は「令和元年度」と記載願います。

別表1 (金利)

同一の計画番号で複数種類の資金を借り入れた場合

事例

- ①令和2年度に漁船の取得・改修費の自己負担分5,050,000円及び消費税相当額1,010,000円(計6,060,000円)を借入  
資金：漁業近代化資金、償還条件：10年間の元本均等方式で年1回償還・据置期間無(各年：606,000円) 借入金利：0.5%(利息支払は後払)
- ②令和2年度に漁網の取得・設置費の自己負担分30,000,000円及び消費税相当額5,000,000円(計35,000,000円)を借入  
資金：漁業近代化資金、償還条件：5年間の元本均等方式で年1回償還・据置期間無(各年：7,000,000円) 借入金利：0.5%(利息支払は後払)
- 上記①及び②は完成日、支払日が異なることから借入日が異なる。

単位：円

借入年度	申請初年度の年度	金融機関名	資金名	計画番号	借入額	申請初年度	申請2年度	申請3年度	申請4年度	申請5年度	計
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
令和2年度	令和3年度	〇〇信漁連	漁業近代化資金	20HK0015①	6,060,000	30,300	27,270	24,240	21,210	18,180	121,200
令和2年度	令和3年度	〇〇信漁連	漁業近代化資金	20HK0015②	35,000,000	175,000	140,000	105,000	70,000	35,000	525,000
年度計						205,300	167,270	129,240	91,210	53,180	646,200

リース導入費の申請初年度の年度を記載願います。例えば、事例の様に令和3年度が初年度である場合は「令和3年度」と記載願います。

別表2 (保証料)

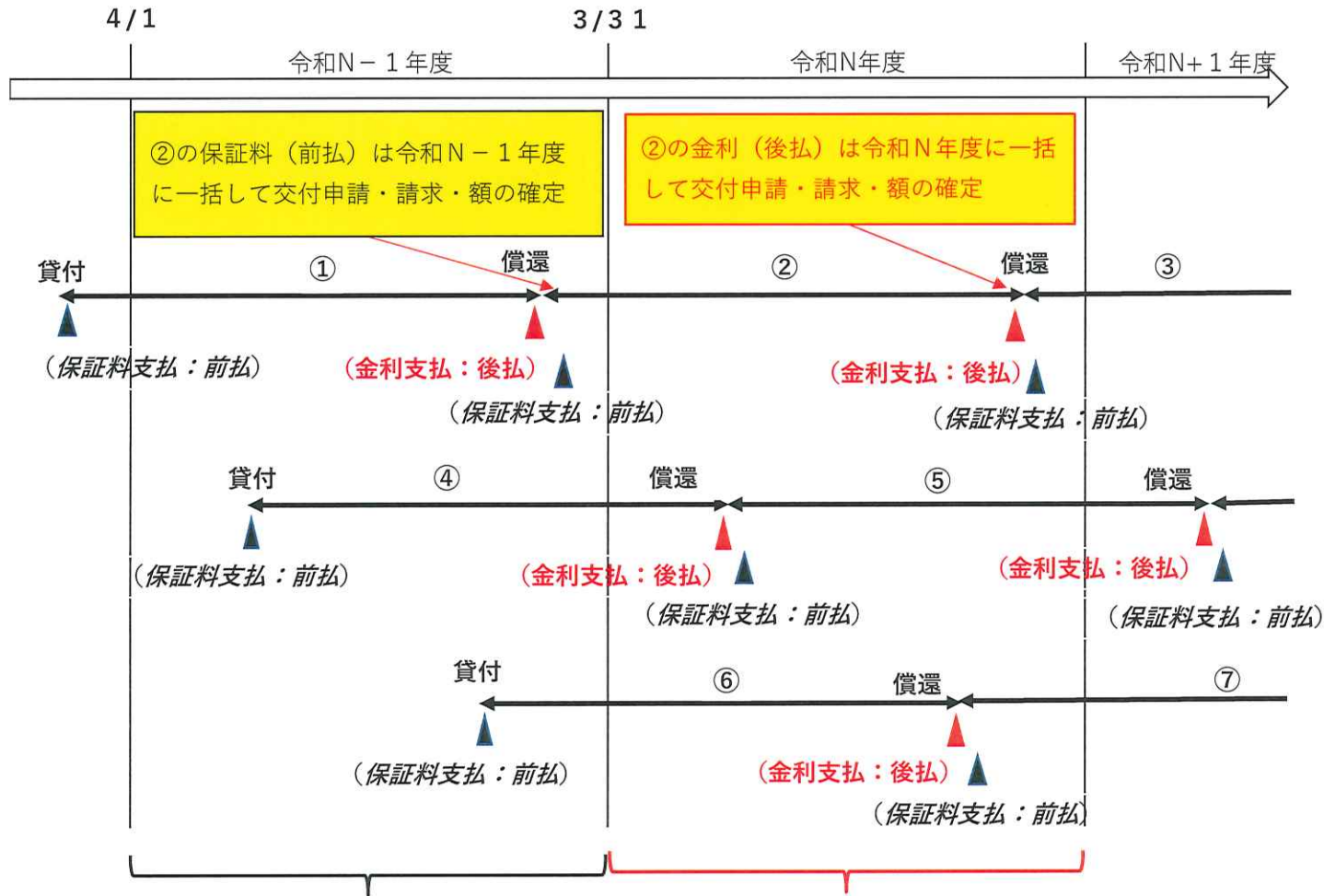
事例 (上記借入の保証。保証料1%)

単位：円

保証年度	申請初年度の年度	保証機関名	資金名	計画番号	保証借入額	申請初年度	申請2年度	申請3年度	申請4年度	申請5年度	計
						令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
令和2年度	令和2年度	〇〇信用基金協会	漁業近代化資金	20HK0015①	6,060,000	60,600	54,540	48,480	42,420	36,360	242,400
令和2年度	令和2年度	〇〇信用基金協会	漁業近代化資金	20HK0015②	35,000,000	350,000	280,000	210,000	140,000	70,000	1,050,000
計						410,600	334,540	258,480	182,420	106,360	1,292,400

複数の申請初年度の申請がある場合はその申請初年度の年度ごとに本表を作成願います。

# 金利・保証料算出方法



N-1年度の金利・保証料は以下の通り  
**金利：①の金利**  
 保証料：②、④及び⑥に係る保証料

N年度の金利・保証料は以下の通り  
**金利：②、④及び⑥の金利**  
 保証料：③、⑤及び⑦に係る保証料